



かけはし

平成29年8月 1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

通知票は子供を励ますきっかけです

校長 川崎 直人

楽しい夏休みが始まりました。子どもたちは夏を満喫して元気に過ごしていることと思います。本校では今年も夏の学習会を実施して子どもたちと一緒に宿題や自主学習のお手伝いをします。



学期のはじめに今年も「やさしく かしく たくましく」を合い言葉に頑張ろうと子どもたちに声をかけまし

た。1学期の様子を見るとどの学級でも真剣に学習に取り組む様子を見ることができ、大変うれしく思います。子どもたちなりに理解し、解決し、友達に認められ、「わかった、やった、できた」と喜びを表しながら、充実感や存在感、所属感を味わっているようです。

学校教育法では、小学校教育で意を用いて指導しなければならないこととして、学力の重要な3つの要素が示されています。それは、①基礎的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③学習意欲（主体的に学習に取り組む態度）です。法律に学力が明記されたのは初めてです。

通知票の学習の記録の欄には、これら①②③の学力の視点から見たお子さんの状況を記載してあります。「よい、悪い」とだけ見るだけでなく、どの教科のどんな学力で子どもの力が発揮されたのか、どんな成果が上がったのかなど、子どもの努力の様子をご確認ください。また、行動の記録では、挨拶、後始末などの基本的な生活習慣、人や自然とのかかわり方、約束やきまりを守っているか、仕事への取組の面から評価し、記載しています。行動の状況は学習面での意欲や成果につながる大切な要素です。たくさんほめられた子どもは、人のよさにも気づき、人を認める子どもに育っていきます。通知票をひとつのきっかけとして、学校生活について子どもと会話を交わす機会とし、学習面、行動面のよさを認める機会にしていきたいと思います。